

回 覧

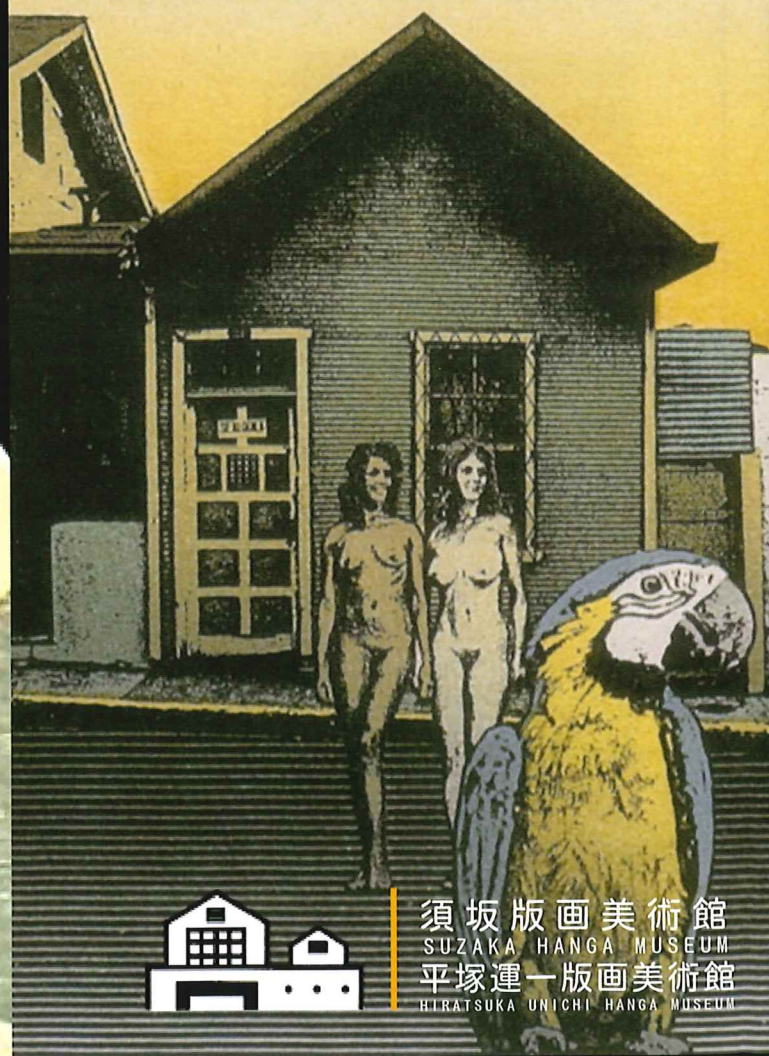
所管課：文化スポーツ課

TEL026-248-9027

生誕100年記念

吉田穂高展

YOSHIDA HODAKA



須坂版画美術館
SUZAKA HANGA MUSEUM
平塚運一版画美術館
HIRATSUKA UNICHI HANGA MUSEUM



抽象画展

Abstract Painting

同時開催

近現代版画
一挙にどうぞ。

2026
9/14 (月) —
10/18 (日)

会場 須坂版画美術館(展示室1・2)

休館日 水曜日

入館料 500円(18歳未満無料)

下記の方は無料入館となります

高校生以下及び18歳未満

須坂市在住の70歳以上の方、及びその介助者

障がい者手帳をお持ちの方、及びその介助者

開館時間 午前9時～午後5時

(最終入館は30分前)

SUZAKA HANGA MUSEUM

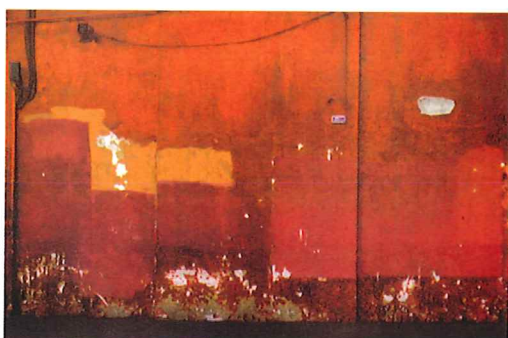
生誕100年記念

- 1926 東京府下滝野川生まれ
- 1949 第一高等学校理科甲類卒業
- 1951 「井上千鶴子・吉田穂高2人展」丸善画廊
初めて木版画作品を発表
- 1952 日本版画協会会員となる
- 1953 画家井上千鶴子と結婚
- 1970 日本版画協会総務となる
- 1995 腹部大動脈瘤破裂のため逝去（享年69歳）
- 1997 「吉田穂高展」須坂版画美術館

当館は、須坂の版画家小林朝治の版画作品と、全国の版画家たちとの交流により朝治が収集した創作版画運動による作品と、版画同人誌の寄贈を受け、1991（平成3）年に開館しました。大正期から昭和初期の版画作品を核にした近代の版画作品の常設展示を中心に、版画芸術の魅力をご紹介します。

吉田穂高は、洋画家、版画家・吉田博の次男として生まれ、自らも版画の世界で活躍しました。また、当館の立ち上げにも携わっていただきました。本展では、2026年に吉田穂高の生誕100年を迎えることを記念し、当館の収蔵品から、穂高の版画作品約15点をご紹介します。国外でも活躍した穂高の版画の世界をどうぞご堪能ください。

吉田穂高展

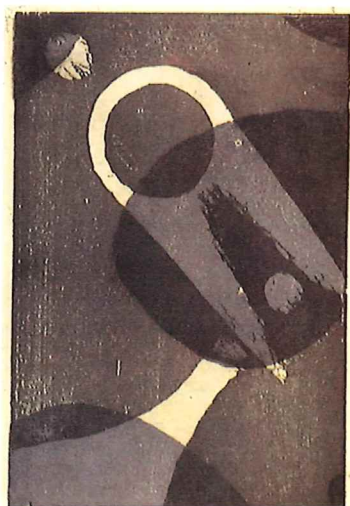


吉田穂高《赤の壁》1992年 亜鉛凸版・木版



吉田穂高《錆色の壁》1992年 亜鉛凸版・木版

さまざまな、いろとかたちのくみあわせ



恩地孝四郎《抒情 慈に涙す》
1915年 木版（機械刷り）



瑛 九《鐘のひびき》
1957年 リトグラフ

本展では、当館の収蔵品より抽象作品を特集展示します。

何が描いてあるのか分かりにくい、と敬遠されがちな抽象画ですが、実は風景や身近な事物に題材を得ている作品も少なくありません。作者が目に見えるままを描くのではなく、感動や印象を色や形へと置き換えて描いたり、ものごとの本質を抜き出して表現しようとしたものと考え、想像力がかきたてられ、作品を楽しむことができるのではないのでしょうか。ぜひ、描かれる情景や作者の心情に想像をふくらませてみてください。

同時開催

抽象画展

〒382-0913 長野県須坂市大字野辺1386-8
（須坂アートパーク内）
TEL:026-248-6633 FAX:026-28-6711
E-Mail:hanga@culture-suzaka.or.jp
<http://www.culture-suzaka.or.jp/hanga/>



須坂版画美術館
SUZAKA HANGA MUSEUM
平塚運一版画美術館
HIRATSUKA UNICHI HANGA MUSEUM

